

## H22年度 特別支援教育デジタル教材プロジェクト活動報告

平成23年5月24日

北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ

### I 目的

- ・ 教育活動において日常的に作成しているデジタル教材を収集し、参照できるようにすることで、教材開発の視点の交流を可能とし、よりよい教材を開発できる環境構築を目指す。
- ※ デジタル教材とは、プレゼン資料やコンピュータソフトウェア教材のみならず、プリントとして配布する文書データや画像データを含む、コンピュータで利用、修正が可能な教材すべてを指すものとする。

### II プロジェクト活動期間

平成22年9月～平成23年5月

### III 活動内容報告

#### 1 学習会

本プロジェクトの理解と、教材開発等の視点を深めるために、以下の学習会を実施した。

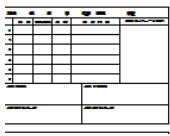

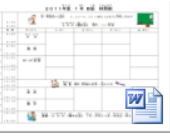
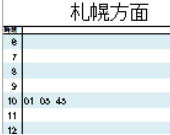




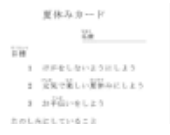
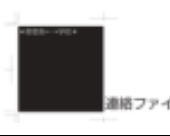
名称	北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ デジタル教材プロジェクト学習会
主催	北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ 特定非営利活動法人 インターネット・ラーニングアカデミー
日時	平成22年11月13日（土） 14時～17時30分
会場	内田洋行 u-cala（札幌市大通り）
内容	14時～15時30分（勉強会） 「デジアナ問わず、障害種ごとまたは障害種を問わない教材開発の視点や実際の活用例」 北海道立特別支援教育センター教育課長 日向 正明 氏 「学校で活用できる教材・教具の提案」 株式会社内田洋行 田中 紀明 氏 15時～17時30分（交流） ・ 自己紹介と、教材の紹介 ・ 事例フォーマットの検討ワークショップ ・ 教材の集約
参加人数	11名


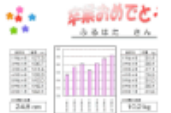



## 2 教材収集

デジタル教材プロジェクトメンバーをはじめとした、特別支援学校および小学校教員等10名より、次の表に示す教材が得られた。

### 1) 教材（13分類：46個）

画像	分類（登録数）	備考
	学級日誌（7）	学級日誌
	学級運営（5）	SHRの流れ
	時間割（3）	時間割
	生活（2）	バス料金表、電車時刻表
	校外学習（5）	しおり、持ち物チェック表、事前学習スライド
	教科（3）	ビンゴカード、ローマ字変換表、100ます計算
	掲示（8）	教室写真、出欠カード
	ノート（4）	マス目、英語
	長期休業（2）	夏休みの生活、日記
	ファイル（1）	連絡ファイル表紙

	予定表 (2)	日程表、週刊スケジュール
	保健室 (1)	身長体重変化
	その他 (3)	小遣い帳、掃除の仕方、日課表

## 2) 画像素材 (8種類 : 56枚)

画像	分類 (登録数)	備考
	くだもの (6)	みかん、りんご、いちご、バナナなど
	ホテル (13)	シャワー室、鍵、冷蔵庫など
	駅 (13)	改札、券売機、ホームなど
	のりもの (1)	タクシー乗り場
	バス (5)	整理券、支払い、料金表など
	道路 (11)	歩行者用信号、信号など
	ポスト (4)	ポスト
	その他 (3)	エスカレータ、消火栓など

#### IV 今後の展開

本研究で得られた、デジタル教材および写真素材は、北海道特別支援 ICT 活用 PJ 会員に対して公開し意見を取り入れることで、ブラッシュアップおよび、教材の拡大を行っていく。今後は、さらに、教材を利用した授業実践について検討していきたい。

#### V デジタル教材プロジェクト構成

特別支援学校 14名

小学校 2名

中学校 1名

大学（助言者）2名

#### 附記

教材収集に関わり、ご協力いただいた教員の皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、本研究プロジェクトは、特定非営利活動法人インターネット・ラーニングアカデミー教育の情報化プロジェクトの一部として実施しました。